



谷口 和弥 議員
(拓政会)



令和元年の夏は、十勝地方にとって例年にない暑さとなった。気象庁・帯広測候所の気象データによると、気温35℃以上となる猛暑日が5月26日・27日、8月1日・2日の合計4日間（前年度は0日）記録された。北海道として初めて5月に猛暑日を観測し、最高気温38・8℃はこれまでの十勝地方の最高気温を更新した。

総務省消防庁発表の「熱中症による救急搬送人員を前年同時期（4/29～8/25）との比較」では、道内は今年1449人が熱中症で救急搬送され、前年より約1割増加し、「救急搬送者の年齢別人数」では高齢者が56%、成人が33・1%、合計89・1%となり、「発生場所別人数」は、住居が46・7%となっている。北海道の実態を踏まえた上で、幕別町の熱中症の状況や予防策について、以下のとおり伺う。

(1)幕別町における熱中症の発症状況は。

(2)幕別町の高齢者等に対する熱中

問 「暑い夏」から町民の健康を守る施策の実行を

答 出前講座や町ホームページを通して広く啓発を行っている

症対策は。

(3)公共施設のエアコン・扇風機の設置状況は。

(4)「幕別町公営住宅模様替え・増築承認申請書」が住民からエアコン設置目的で提出された場合の対応は。

町長 (1)熱中症は医師による問診と診察で診断されることから、町として発生状況を把握すること

はできないが、町内における熱中症およびその疑いにより救急搬送された人数について、とちち広域消防局に確認したところ、本年8月末現在では16人、平成30年が14人、29年が9人となっている。

(2)介護予防支援事業所として町が直接関わる要支援認定者や要介護認定に係る訪問調査の対象者のうち、特に高齢者世帯や独居高齢者等と接した際には、小まめな水分補給やエアコン、扇風機等の使用

による室温管理などの熱中症の予防に関する注意喚起を行っているほか、出前講座やホームページを

通じて、広く啓発を行っている。

(3)住民が利用する施設において、エアコンが設置されている主な施設で施設全体を冷房できる施設としては、役場庁舎や札内コミュニティプラザ、図書館の札内、忠類分館の4施設。保健福祉センターや忠類ふれあいセンター・福寿、農業担い手支援センター、忠類コミセン、百年記念ホール、幼稚園、常設・へき地保育所、小中学校など27施設では、施設の一部である電算室や保育室、パソコン教室等に設置している。また、扇風機については、町民会館やコミセン、各小中学校、学童保育所など40施設に設置しているが、近隣センターについては、町で扇風機は設置しておらず、各近隣センター運営委員会が設置している。

(4)住宅にエアコンを設置する場合は室内機と室外機を配管でつなぐ必要がある。現状の公営住宅は、この配管用の穴がないため、既存の換気用等の穴を利用するか、新たに穴を設ける必要がある。また、

熱中症（疑いを含む）による救急搬送件数（令和元年と平成30年比較）

		出動件数合計	搬送車数合計	項目別搬送者数																				
				性別		年齢区分					計	傷病程度					計	発生場所						
				男	女	18歳未満	18歳以上40歳未満	40歳以上65歳未満	65歳以上75歳未満	75歳以上	死亡	重症	中等症	軽傷	その他	住居	仕事場	教育機関	公衆出入り場所 （屋内）	公衆出入り場所 （屋外）	道路	その他		
幕別町	令和元年	16	16	8	8	1	3	4	2	6	16	0	2	4	10	0	16	7	4	0	0	4	1	0
	平成30年	14	14	8	6	1	1	2	2	8	14	0	2	5	7	0	14	2	3	0	2	2	4	1
十勝管内	令和元年	157	159	80	79	19	22	28	26	64	159	2	15	42	100	0	159	79	21	12	12	19	11	5
	平成30年	110	110	64	46	13	15	14	14	54	110	0	5	22	83	0	110	39	17	6	7	19	13	9
※とかち広域消防局資料から作成 ※集計期間は、令和元年：4/29～8/31・平成30年：4/30～10/31																								

※とちち広域消防局資料から作成 ※集計期間は、令和元年：4/29～8/31・平成30年：4/30～10/31

新たに穴を設ける場合は、あらかじめ職員が現地ですべて具体的な場所を確認し、構造上支障とならないのか確認を行った後、申請していただき、町が原状回復を条件として承認した後に、自己負担により設置工事を行っている。